

もっともっと心ウキウキの新年度に

アイアイハウス総合施設長 栗津浩一

いよいよ2016年度（平成28年度）の始まりです。来年4月にオープン予定の新たな「生活介護事業所」の建設に向けて、今年度のアイアイハウスはより忙しい1年になりそうです。北区にある約500㎡の敷地で施設の延べ床面積は約440㎡、ショートステイも2床です。2008年（平成20年）の9月に開設した「上京アイアイハウス」も今や19名の仲間たちで手狭になってきました。今いる仲間たちの障害の重度化や加齢にあわせた活動を、またこれから盲学校や特別支援学校を卒業する人たち、地域で希望をする障害のある人たちのためにも、新たな生活介護事業所建設を実現しなくてはなりません。新しい場所での仕事や取り組みは？仲間たちの新しいグループは？新たに入所する仲間や職員は？今のアイアイハウスでも新しい仕事や活動をと、考える事はたくさんですが、みんなワクワク夢が広がります。

アイアイハウスにとってはそんな心ウキウキの新年度ですが、障害者福祉を取り巻く状況は安心できる事ばかりではありません。「障害者自立支援法」が出来て10年、私たちの運動で不十分ながらも「障害者総合支援法」に変わって3年になります。今ちょうどこの文章を書いている時点では、「障害者総合支援法」の積み残しの課題を見直す法案が国会に提出されています。しかしながら、何度もお伝えしている「国連障害者権利条約」、障害者自立支援法違憲訴訟の「基本合意文書」、障害者自立支援法廃止後の法律をつくるための「総合福祉部会の骨格提言」、これらの内容が盛り込まれた見直しとはなり得ていないのが現実です。これらの問題を広く伝えるために、『ふつうに生きたいくらしたい！障害者権利条約・基本合意・骨格提言の実現めざす4.21全国大集会』が来る4月21日（木）の午後に東京日比谷野外音楽堂で開催されます。いま改めてしっかりと情勢を学習して声を上げていくことが大切です。

「日々の仲間たちとの活動を高める『実践』」、「職員の確保と育成も含めた施設の安定した『経営』」、「情勢を切り開き展望を創り出す『運動』」、このどれがかけても仲間たちの豊かな未来は築けません。新たな施設建設の取り組みを大きなエネルギーに、「社会福祉法人アイアイハウスの理念とめざすこと」を大切にしてこれからも頑張ります。ひきつづきのご支援ご協力をよろしく願います。